

## 水稻の生育状況と今後の管理対策（第3号）

令和7年6月20日  
新潟県農林水産部

### 〔6月19日現在の県内全域の生育概況〕

- コシヒカリでは指標値（生育のめやす）に比べ、草丈は「並」、茎数は「やや少」、葉数の進みは「並」、葉色は「やや濃い」ですが、ほ場間差が大きい状況です。
- 新之助では指標値に比べ、草丈は「並」、茎数は「少ない」、葉数の進みは「遅い」、葉色は「やや濃い」状況です。

### 〔気象予報と今後の生育見込み〕

- 6月19日発表の北陸地方1か月予報（6月21日から7月20日）は、平均気温は高く、降水量は平年並か少なく、日照時間は多いと予報されています。
- 一部の草丈が長く、葉色も濃いコシヒカリでは、倒伏が懸念されます。
- 今後も高温が予想されるため、早生品種の出穂期はやや早まる見込みです。
- 新之助では、降雨が続くと、いもち病に感染しやすくなります。

### 〔今後の管理対策のポイント〕

- 田植えの遅いほ場で、まだ中干し\*1を実施していないほ場では、茎数を確認し、遅れずに中干しと溝切りを行いましょう。
- 中干しは、根を傷めないように、小ヒビ程度とし、中干し効果を維持するために、溝切りも必ず行うとともに、速やかに排水ができるように、溝の点検や修復を行いましょう。
- 斑点米カメムシ類の密度を抑制するため、イネ科雑草が実をつけないよう、こまめに畦畔・農道等の草刈りを行いましょう。また、ほ場内のヒユ、ホタルイ等は斑点米カメムシ類の増殖源となるため、除草を行いましょう。

#### コシヒカリ

- 良質茎の確保と倒伏防止のため、5月中旬までに移植したほ場は、速やかに中干しを行いましょう。

#### 新之助

- 特に茎数が急増しやすい品種のため、茎数をこまめに確認し、目標穂数（400本/m<sup>2</sup>）の7～8割の茎数となったら直ちに中干しを開始してください。
- 稲をこまめに観察し、葉いもちの発生を確認した場合は、薬剤防除をしてください。

\*1 中干し（なかぼし）：田の水を落として、一時的に田を乾かし、稲の生育量を適正に保つ作業のこと

### 早生品種

- 5月上旬植えのほ場は中干しを終了し、飽水管理\*2へ移行してください。
- 幼穂を確認し、品種ごとに穂肥\*3施用の時期と量を地域の農業普及指導センターやJA等の技術情報で確認し、1回目の穂肥を遅れずに施用してください。
- 葉いもちの発生を確認した場合は、速やかに防除を行ってください。

\*2 飽水管理（ほうすいかんり）： 土壌を湿潤状態に保つこと

\*3 穂肥（ほごえ）： 穂が出る前に追肥すること

### 中干し程度のめやす



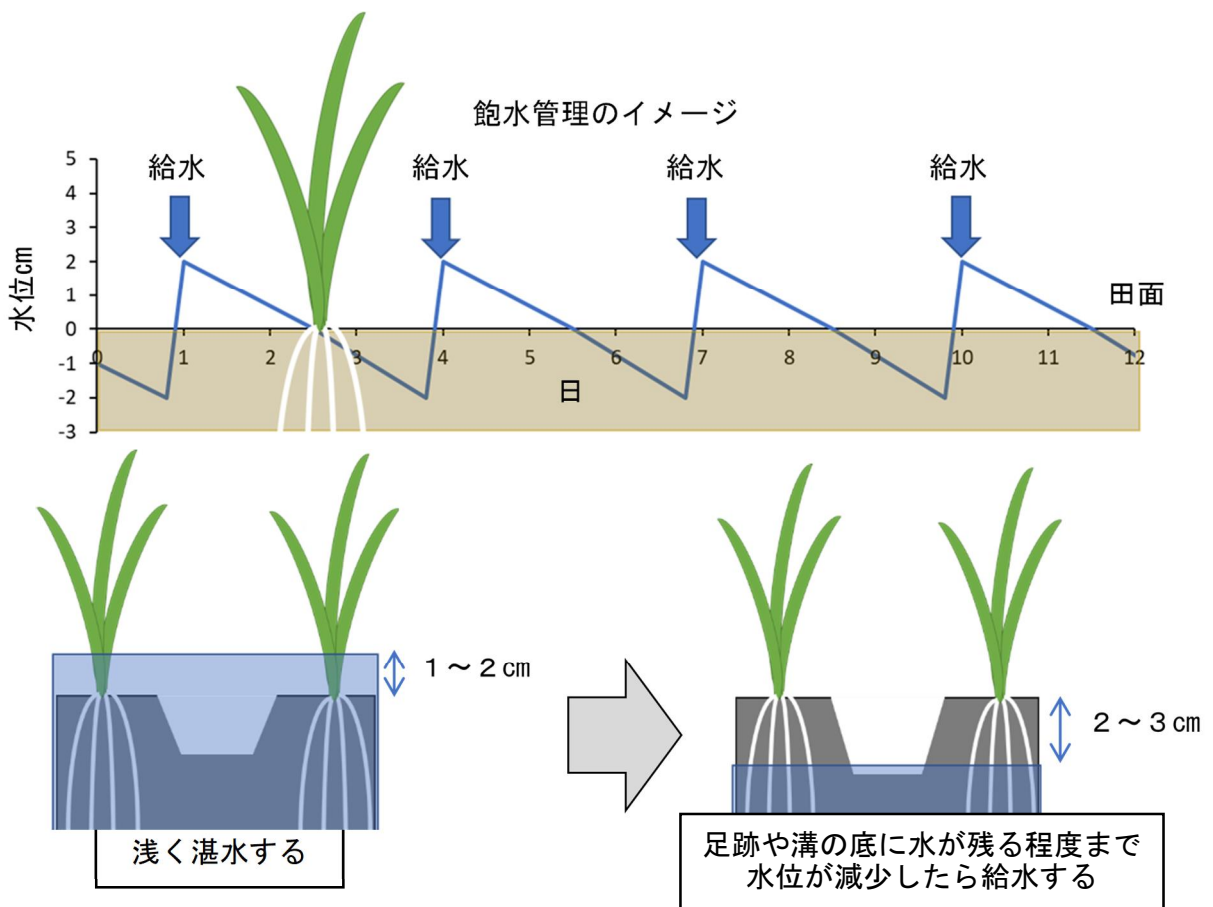
- 中干しの強さは、小ヒビが入り、軽く足跡がつく程度

### 乾かしすぎ



- × 乾かしすぎて大ヒビが入ると、根が切断されたり、発根が抑制される

## 飽水管理のイメージ



## 熱中症予防

- 急激に気温が上がった場合や、湿度が高い場合は熱中症発生のリスクが高まります。
- 農作業中は、定期的に水分・塩分を補給し、帽子等で直射日光をさえぎるほか、暑さ対策用品を活用して身体を冷やすなどの熱中症予防対策を必ず行い、健康管理に十分注意しましょう。
- 気温の高い時間帯に作業しない、単独で作業しない、休憩はこまめにとるなど、十分配慮してください。

◎ 今後の管理対策発信予定日 7月1日・11日・18日・25日・31日、8月21日

## 〔補足資料〕

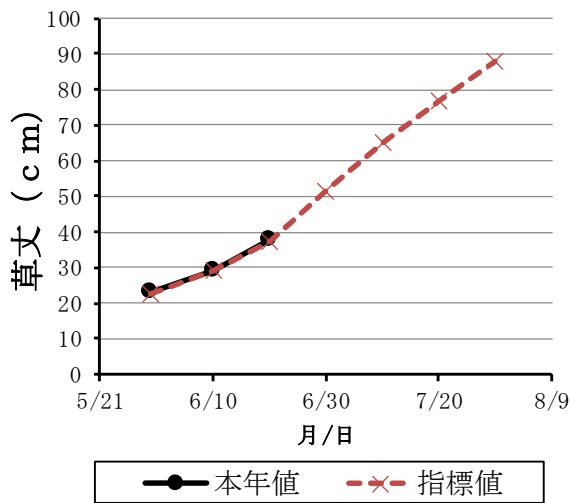
### 1 農業普及指導センター及び作物研究センターの生育状況（6月19日現在）

#### コシヒカリ

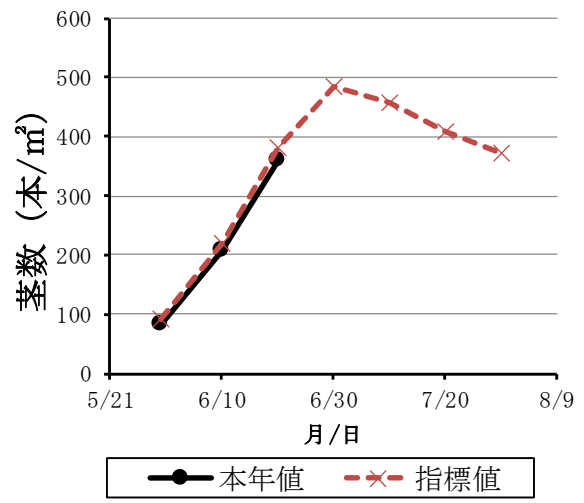
○ 指標値（生育のめやす）に比べ、草丈は「並」、茎数は「やや少」、葉数の進みは「並」、葉色は「やや濃い」です。

項目	本年値	指標値 (県平均)	指標値 との比較	指標値比・差
草丈	38 cm	37 cm	並	103%
茎数	361 本/m <sup>2</sup>	380 本/m <sup>2</sup>	やや少	95%
葉数	8.7 葉	8.5 葉	並	+0.2 葉
葉色 (SPAD 値)	40.2	38.8	やや濃い	+1.4

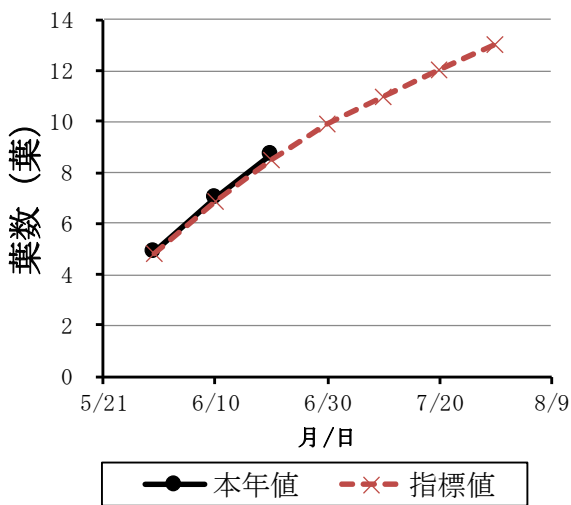
注) 県内全域の14生育調査ほデータの平均値（田植え5月12日、栽植密度17.2株/m<sup>2</sup>）



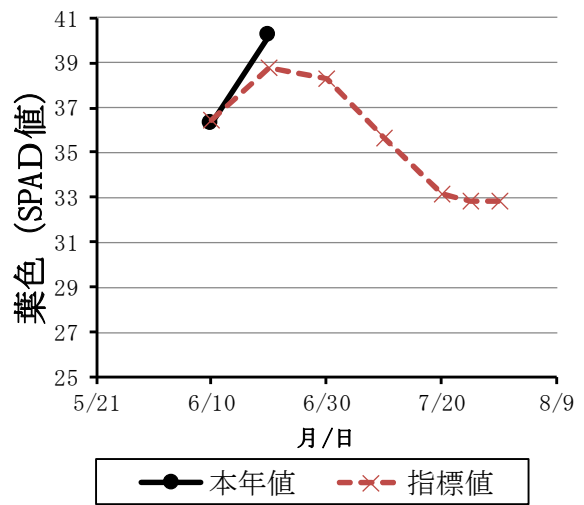
草丈の推移  
(県全体)



茎数の推移  
(県全体)



葉数の推移  
(県全体)



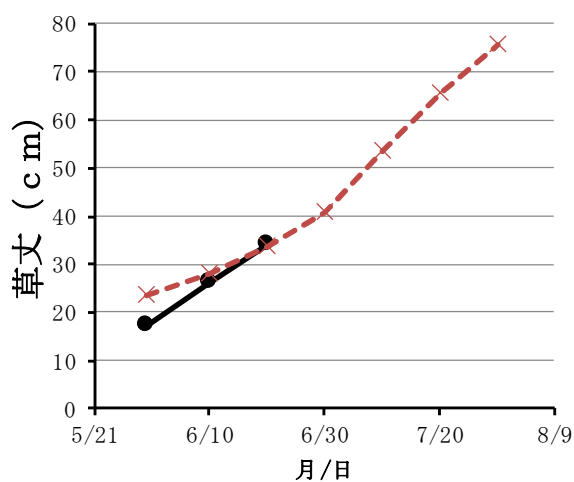
葉色の推移  
(県全体)

## 新 之 助

○ 指標値（生育のめやす）に比べ、草丈は「並」、茎数は「少ない」、葉数の進みは「遅い」、葉色は「やや濃い」です。

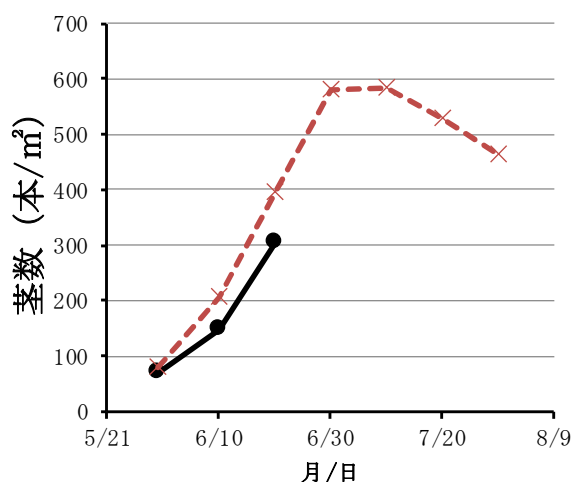
項目	本年値	指標値	指標値との比較	指標値比・差
草丈	34 cm	34 cm	並	100%
茎数	304 本/m <sup>2</sup>	394 本/m <sup>2</sup>	少ない	77%
葉数	7.9 葉	8.6 葉	遅い	-0.7 葉
葉色 (SPAD 値)	39.9	38.9	やや濃い	+1.0

注) 県内全域の14生育調査ほデータの平均値 (田植え5月19日、栽植密度16.7株/m<sup>2</sup>)



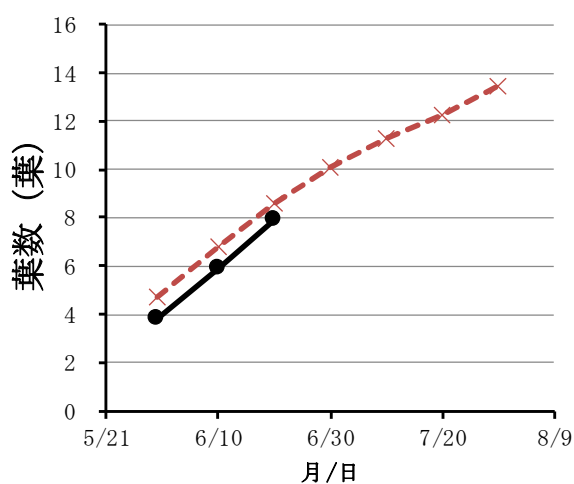
● 本年値    -x- 指標値

草丈の推移  
(県全体)



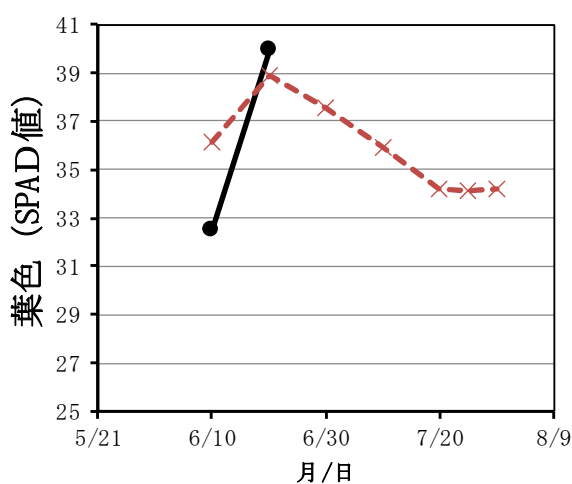
● 本年値    -x- 指標値

茎数の推移  
(県全体)



● 本年値    -x- 指標値

葉数の推移  
(県全体)



● 本年値    -x- 指標値

葉色の推移  
(県全体)

## こしいぶき (参考)

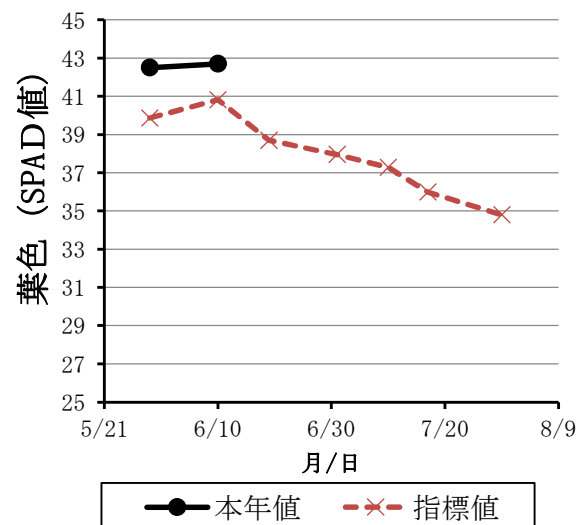
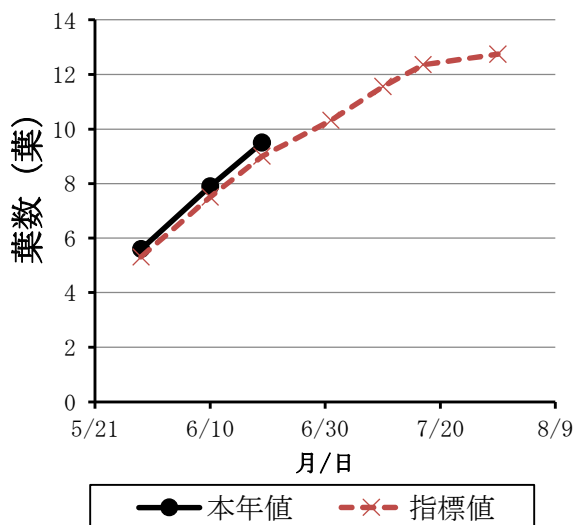
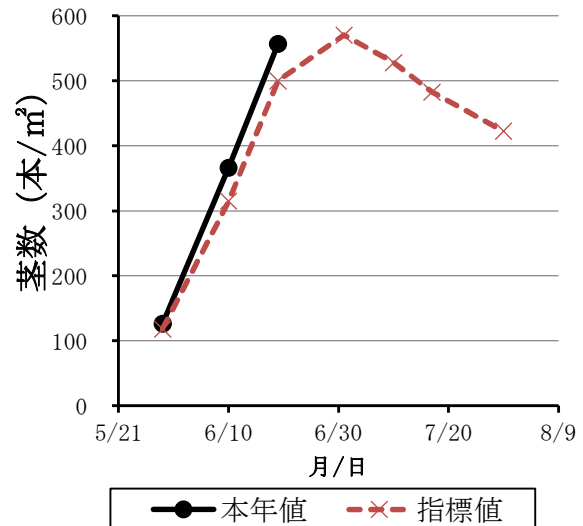
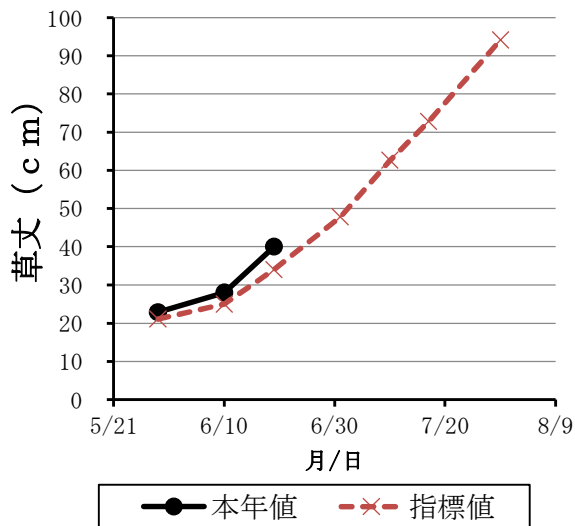
○ 指標値（生育のめやす）に比べ、草丈は「長い」、茎数は「多い」、葉数の進みは「やや早い」、葉色は「やや濃い」です。

項目	本年値	指標値	指標値との比較	指標値比・差
草丈	40 cm	34 cm	長い	118%
茎数	557 本/m <sup>2</sup>	500 本/m <sup>2</sup>	多い	111%
葉数	9.5 葉	9.0 葉	やや早い	+0.5 葉
葉色 (SPAD 値)	42.7	40.8	やや濃い	+1.9

注1) 化学肥料栽培。田植え5月9日、栽植密度18.7株/m<sup>2</sup>

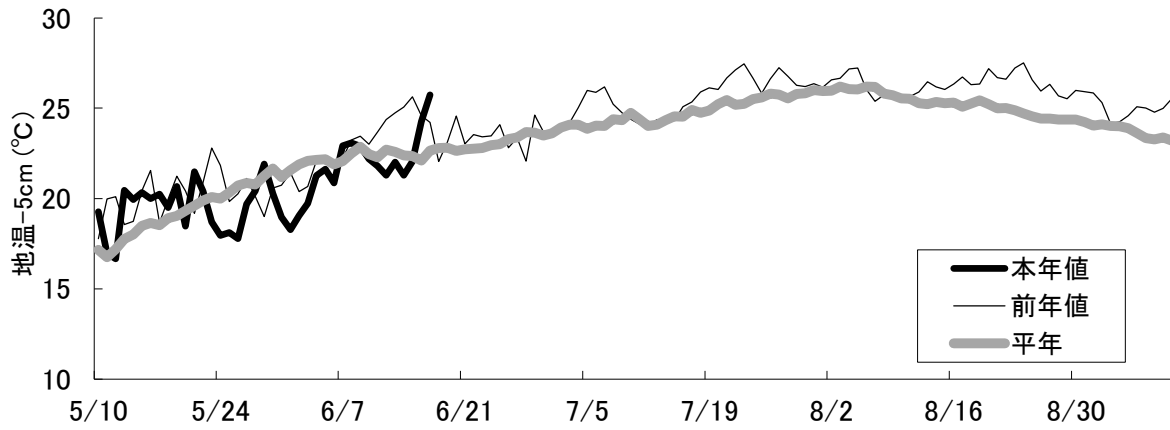
注2) 基肥窒素成分量 3.0kg/10a

注3) 長岡市長倉町（作物研究センター）の生育調査ほデータ

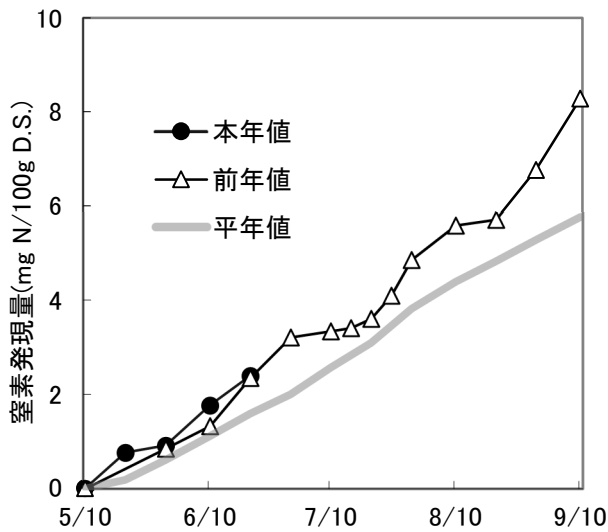


## 2 ちりよく 地力窒素の発現状況

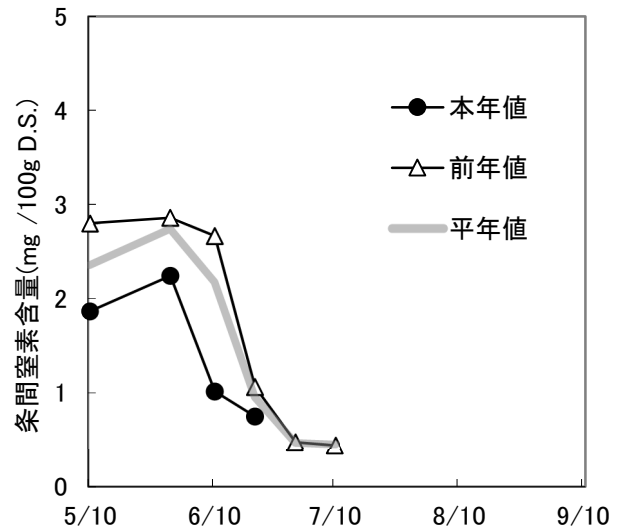
- 6/9～6/17の期間の日平均地温は平年差+0.6℃で平年並みに推移しました。6月18日時点の地力窒素発現量は平年より多く、条間窒素含量は平年よりやや少なく推移しました。



水田地温（5 cm 深）の推移  
（農業総合研究所内ほ場、基盤研究部調査）



地力窒素発現量の推移(6月18日)  
（農業総合研究所内ほ場、基盤研究部調査）  
初期値=0、田植日：5月9日、化学肥料栽培  
基肥窒素成分量：3.5 kg/10a



条間窒素含量の推移(6月18日)  
（農業総合研究所内ほ場、基盤研究部調査）  
田植日：5月9日、化学肥料栽培  
基肥窒素成分量：3.5 kg/10a